

国内線 LCC の現状分析と国内市場の展望(5)

～ その他市場 ～

2017年1月19日

〈 ポイント 〉

- ① 首都圏、関西圏、中部空港圏を除いた「その他の市場」の規模は1300万人弱（国内線全体の13%）である。
- ② その大半は、上述3市場に準じる4大空港（※）が絡む市場であり、約1,100万人である。（更なる残りはわずか200万人の市場）
（※）新千歳、仙台、福岡、那覇
- ③ その中でLCC（Peach）は最大市場の福岡＝那覇だけに就航している。
- ④ LCC未就航路線の中で比較的大きめの市場は、4大空港間の路線、福岡＝宮崎、那覇＝石垣&宮古である。
- ⑤ LCCが就航する福岡＝那覇線では、LCC（Peach）の搭乗率が格段に高い。

1. 「その他市場」の規模

- ・ 既述の3市場を除く「その他市場」の規模は1,271万人である。
- ・ その中には3市場に準じる4大空港（※）の市場が含まれる。
（※）新千歳、仙台、福岡、那覇
- ・ この4大空港の発着のべ旅客数は5,100万人にもなるが、3大市場（首都圏、関西圏、中部空港）絡みの旅客が3,700万人に及ぶ。
それらの需要を差引いた、いわば「4大空港市場」独自の旅客数（2015年度）は、4大空港間の344万人と、4大空港＝第3空港の729万人；計1,073万人である。
- ・ 更にこの4大空港も除いた第3空港間の旅客数は198万人ということになる。
需要の小規模な路線の集合体といえる。
- ・ ここでは「4大空港市場」（除既述の3市場）について眺めることにする。
- ・ なお、この市場でLCCの就航路線は「福岡＝那覇」のみである。

《図表1》「その他市場」の旅客規模



JAMR レポート

2. 「4大空港市場」の内訳と主なLCC未就航路線

- ・ 下図表は4大空港毎の旅客内訳を示したものである。
- ・ 各空港ともに発着旅客数は多いが、既述の3大市場圏路線の旅客数を差引くと半分以下となる。

例えば新千歳の発着旅客数は1,753万人だが、首都圏など3大市場圏の1,462万人（発着旅客数の83%）を差引くと291万人ということになる。

更に4大空港間の旅客（131万人）を差引いた、第3空港との需要は159万人ということになる。

そのうち女満別線（18万人）など主な10路線の旅客数は108万人となっている。

- ・ 4空港間では、福岡＝那覇（170万人；LCC就航）、新千歳＝仙台（72万人）、福岡＝新千歳（51万人）の需要規模が大きい。
- ・ 4空港と第3空港間の路線では、那覇＝石垣、那覇＝宮古が100万人超、福岡＝宮崎が49万人であるが、あとは30万人未満である。

《図表2》「4大空港市場」の旅客内訳

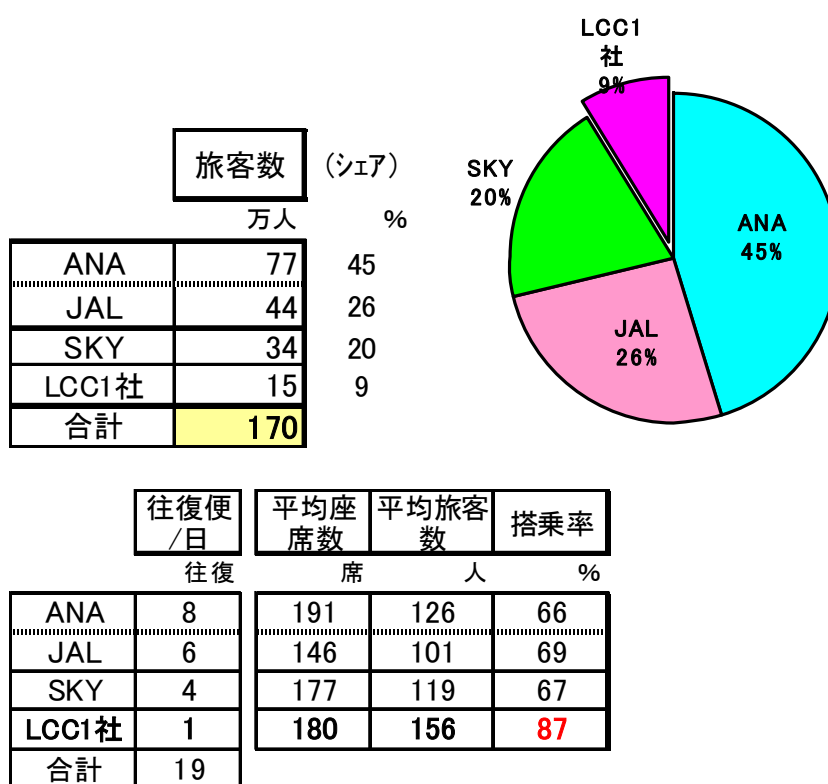
	新千歳		仙台		福岡		那覇		
	万人	(率)%	万人	(率)%	万人	(率)%	万人	(率)%	
発着総旅客数	1,753	100	282	100	1,568	100	1,512	100	
首都圏路線	1,069	61	9	3	928	59	600	40	
関西圏路線	265	15	128	45	114	7	255	17	
中部	128	7	21	7	79	5	102	7	
小計	1,462	83	157	56	1,122	72	957	63	
差引き	291		125		446		555		
(4空港間需要)									
新千歳路線	×		72	26	51	3	8	1	LCC就航路線 170
仙台路線	72	4	×		29	2	14	1	未就航路線 174
福岡路線	51	3	29	10	×		170	11	
那覇路線	8	0	14	5	170	11	×		
その他市場	159	9	10	4	196	13	363	24	729
(主な路線)	↓				↓		↓		
女満別	18				金沢	16	石垣	118	
中標津	10				新潟	13	宮古	107	
釧路	9				松本	7	久米島	23	
函館	6				茨城	11	金沢	7	
青森	12				松山	12	茨城	14	
花巻	9				高知	6	岡山	9	
秋田	10				宮崎	49	広島	12	
茨城	12				対馬	17	松山	7	
広島	14				福江	10	高松	12	
岡山	7				小牧	21	鹿児島	17	
(小計)	108				(小計)	160	(小計)	325	
残	51				残	36	残	39	

JAMR レポート

3. 福岡＝那覇線の旅客状況

- ・ ANA、JAL、SKY の間に LCC (Peach) が Daily1 往復で参入。
- ・ 4 社とも同じような小型機材 (B737、A320) で運航 (ANA のみ中型機混在) している。
- ・ 既存 3 社が 60% 台の搭乗率であるのに対し、LCC (Peach) は 87% という突出した搭乗率を達成している。

《図表 3》 LCC 就航路線旅客の会社別内訳



以上